

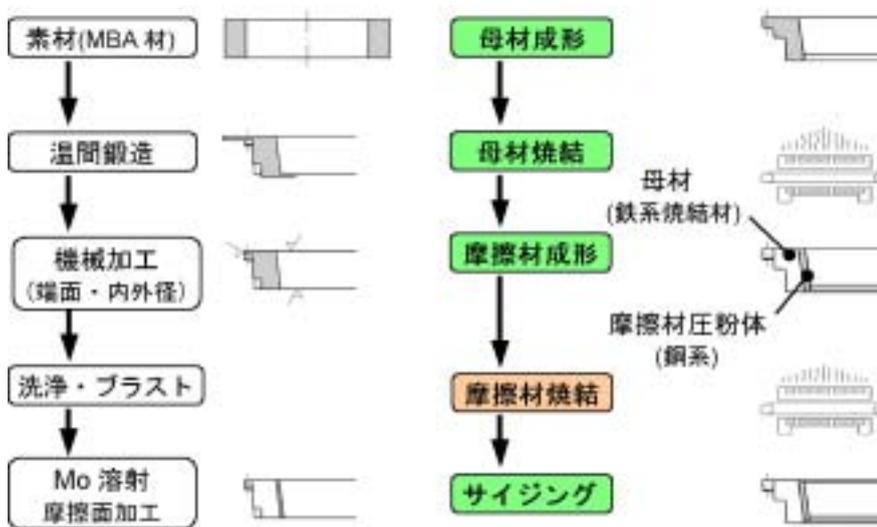
シンクロナイザーリング

用途 自動車・ミッション

内容 ・鉄系リングと銅系摩擦材に機能分担した二層一体型焼結シンクロナイザーリング。



経緯 ・エンジンの高出力化に伴う、シンクロ性能の向上要求。
・従来技術では、マルチコーン化、表面処理等による、M/Tの大型化、高コスト化が問題。
・高性能で低コストのシンクロナイザーが求められていた。



VA効果 ・特殊高力黄銅素材にMo溶射を実施した材料に対して30%のコスト低減を達成した。

その他 ・摩擦特性は従来品と同等であるが、耐摩耗性、耐焼付き性に優れる。
・焼結工法だけでの、二層シンクロナイザーリングは世界初。